

住吉台中学校
1学年便り

一念通天

第9号

令和4年7月19日
発行・文責 今野 芳哉

～成長が見られた合唱コンクール～

14日に行われた合唱コンクールでは、朝早くからたくさんの御参加をいただきありがとうございました。また、感染予防対策やアンケートに御協力いただきましたことを感謝申し上げます。さて、生徒たちの歌声についてです。白百合学園レジナパーチスホールに各クラス素晴らし歌声が響き渡りました。リハーサル時よりも声量が増していて、ハーモニーを響かせることができたのは、立派だったと思います。合唱強化期間中、クラスの練習を見に行っていたので、『あっ！この部分修正したんだな』『なるほど、こんな工夫をしたのか』と聞いていてとても嬉しくなりました。

～審査結果～

グランプリ	3年2組	「虹」
準グランプリ	3年1組	あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～

さすが3年生、圧巻の合唱でした。指揮者賞と伴奏者賞も3年生、2年生からの選出となりました。先輩方の姿を見て、「来年こそは！」とすでに燃えている生徒も出てきています。



～ 7月15日、6校時の学年集会にて～

各クラスの代表に、合唱コンクールの感想を発表してもらいました。



「合唱コンクールを終えて」 1組

初めての合唱コンクールで、大きなホールで歌ってとても緊張しました。席に座っている時もとても緊張していましたが、私たちの出番が来たとき、ステージに上がったときはそれ以上の緊張を感じました。とても緊張しましたが、いつも通り歌えたと思います。

その後他のクラスの合唱を聞きました。私が印象に残っているのは、3年生の合唱です。3年生の合唱は、みんなが全力を出し切って歌っていて、とても迫力のある合唱でした。そして、全部のクラスが終わって結果が発表された時は、さすが3年生だと思いました。私も1年後や2年後には今の3年生みたいになりたいと思いました。

私はこの合唱コンクールを終えて、たくさんのことを学ぶことができました。その中でも、特にみんなで協力する大切さを学べたと思います。私のパートはアルトパートでした。元々音程が難しいパートで、三つのパートの中でも一番声が小さかったので、なかなか上手くいかないときもありました。しかし、パートリーダーがしっかりまとめてくれ、他のパートのみんなも支えてくれたおかげで、協力することの大切さを経験し学ぶことができました。この合唱コンクールで経験したことを忘れず、次に生かしていきたいです。



「合唱コンクールを終えて」 2組

みなさん、合唱コンクールお疲れ様でした。どうでしたか。

自分の力を最大限に引き出して歌うことはできましたか。できなかった人、緊張してしまった人は、これを良い経験にして来年も頑張りましょう。

課題曲が決まり、一生懸命に練習しましたね。自由曲は、1組が「大切なもの」、2組は「あさがお」に決まりました。違う曲を歌いたかった人もいたのではないのでしょうか。それでも、しっかりと歌いきりました。曲を覚えるのは大変だったと思います。指揮者や伴奏者の皆さんにとっては、歌う人とは違う世界を感じられたのではないのでしょうか。パート内でも意見が合わなくもめてしまったこともあったと思います。「いやだな」と思ったり「もう無理だ」と思っていたりしたことがあったと思いますが、クラスで団結したことで良い合唱になりました。協力することが重要だと学ぶことができました。

3年生の合唱は感動しました。とても素晴らしかったですね。1年生だからということもあると思いますが、もしかしたらもっと良い歌にすることができていたかもしれません。一人一人後悔はあると思いますが喜びもたくさんありました。合唱コンクールは終わりましたが、これからの行事でこの経験を生かして活躍して行きましょう。

